

大学図書館研究会・群馬県図書館協会専門研修

(群馬県大学図書館協議会・群馬県図書館協会 共催)

○平成25年度第2回

テーマ：「ラーニングcommonsの利用事例」

日時：平成26年3月14日（金）13時30分～16時30分

場所：高崎経済大学図書館ホール

参加者：23名（大学図書館21名、公立図書館1名、高校図書館1名）

講演：「ラーニングcommonsの利用事例」

共愛学園前橋国際大学図書館長 教授 後藤 さゆり 氏

【概要】 近年、ラーニングcommonsという学習環境への関心が高まっている。そこで、共愛学園前橋国際大学の KYOAI COMMONS の実践を事例として、ラーニングcommons設置の課題について議論を深めた。背景には、高等教育における学びの質的転換がある。学生の能動的な学習およびそれを取り込んだ授業であるアクティブラーニングを支援するラーニングcommonsが有効に活用されるためには、大学のカリキュラムとの連携が不可欠である。また、ラーニングcommonsでは従来の図書館機能を超えたサービスの提供を必要とするため、整備するためには人的サービスも含めたシステムを整備することが大きな課題である。



(会場・高崎経済大学図書館)



(後藤講師)



(末松大学図書館協議会長)



(講義風景)



(質疑応答)



参加者の意見等

「(ラーニングcommonsを) 導入する際の参考になった」「実践例が何えてよかった」「県内の大学の事例なので刺激になった」との感想が多く、たいへん好評でした。ラーニングcommonsの整備については、「大学全体でとりくみ、考える事だと感じた」「大学全体の協力が必要」との感想が多く、図書館だけにとどまらず、大学関係者に広く聴いていただくべき講演であったと感じました。また、KYOAI COMMONS が先進的な事例であったためか、「自分の大学では(ラーニングcommonsの導入は) 難しそう」との感想を寄せた受講者が数名ありました。「入れ物や場の提供だけでは、ラーニングcommonsがアクティブラーニングにつながらないということがよくわかった」というのが、今回の講演会を象徴する感想だったと思います。講演終了後には高崎経済大学図書館の見学が行なわれました。